

感想・気付き

氏名 稲見順子

今までの人生で、何度も目標を掲げては達成できない自分にごっかりする、ということを経験してきました。

目標達成は、根性だと本気で思っていました。達成できない自分を弱い人間だと責めていました。

自分の決めたことをやらない、ということを経験すると、自分への信頼を失います。若い頃に私は、自分の可能性と強さを信じ起業したのですが、その自信は年々失われて、原田メソッドを手にした時には、

「自分は本当はダメな人間なんじゃないか？可能性とかビジョンとか、今まで何か自分を勘違いしていたんじゃないか？」と感じていました。

仕事も生きることもどこか諦めていて、つまらなくなっていたように思います。

原田メソッドを実践して自分自身、そして目標達成について核心的な気付きや体験を沢山得ることができました。

その中で、私の力を最も取り戻した気付きは、＜自分が目標達成することができない理由＞を体験的に知ることができたことです。つまり、実践しながら「はは～ん、いつも自分はここでつまづくんだよな。ここで諦めるんだよね。」とリアルタイムで分かるようになったのです。

最初は、＜何となく＞そして段々と＜ハッキリ＞と分かるようになり、こうして表紙を作成している今は＜分かって、即修正する＞ことができるようになってきました。分かっていながらも以前のやり方、考え方に執着している自分がまだまだありますので、今後は気付きと修正、その精度を上げることが課題です。

目標を考えたり、紙に書いたりすることは昔から好きだったのですが、原田メソッドを学んだ今、あの頃を振り返ると「達成は難しい目標設定」だったと言わざるを得ません。

原田メソッド自体も途中で挫折し、脳裏の片隅にある重大なやり残しとして気まずい状態だったのですが「原田メソッド卒業を目標としよう」ということを決めてから今日まで、着実に毎日を積み重ねることができていますので、やっぱり、原田メソッドはやれば必ず成果の出る方法だと実感しています。

完璧でなくとも、途中で止まっても、思ったようにできなくても、嫌なことがあっても、やる気がなくても、夫婦喧嘩をしても、息子が生意気でも、兎にも角にも継続すること！

まずは、実践を続けることでその次があると思っています。

原田メソッドは素晴らしいですね。私になんら直接的な指導をしていないのにも関わらず、家族や友だちが原田メソッドに興味を持っています。夫や子どもたち、友だちにもっと私の良い変化が伝わり、その変化を作り出した技術に興味を持ってもらい、伝えられる日がそう遠くないように思えます。

原田メソッドを実践して、ただ過ぎていくだけの私の日常は全く違うレベルのものになりました。今、私は毎日を大切な命を一生懸命生きている！という実感があります。必死に生きています。やれることを必死でやって、休む時に思いっきり休んで、何といたかも、、、、ハッキリ言って生きていくのが楽しくて仕方ありません。

目標達成に挫折し、自信をなくしている沢山の人がおられると思います。沢山挫折した私自身が思うのは、そういう方に、最後に本気でこのメソッドを試して欲しいということです。諦める前に、もう一度だけチャレンジしてみたいです。目標達成の技術、技能を手にしたらどんな未来も創造できる、今はそう思えます。

最後に原田先生、研究所の方々、全てのスタッフの方に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。